

変化に的確な対応を!

一般会計歳出総額 220億8341万円

た。
向
上
に
努
め
る
よ
う
要
望
し
た。
た。
向
上
に
努
め
る
よ
う
要
望
し
た。

平成25年度一般会計、
特別会計及び企業会計の
決算認定が9月定例会に
上程されました。

議会では、一般会計決
算特別委員会と特別会計
決算特別委員会を設置
し、監査委員の決算意見
書及び提出された決算関
係資料をもとに執行部の
出席を求め審査し、いず
れの決算も認定しまし
た。

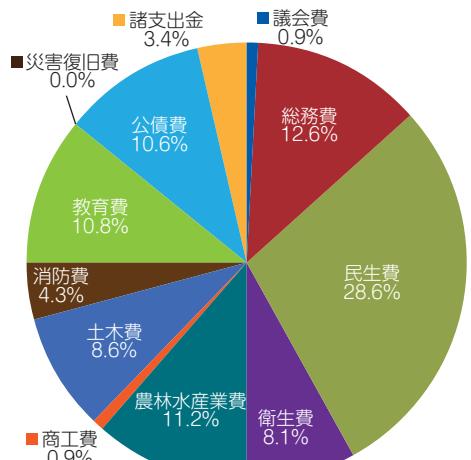
一般会計

(単位:千円)	
一般会計歳入総額	22,817,011
一般会計歳出総額	22,083,417
実質収支額	674,853
地方債現在高	22,807,841
積立金現在高	8,977,318

平成25年度一般会計決
算収支の状況について
は、歳入総額228億1
701万1千円、歳出総
額220億8341万7
千円、翌年度へ繰り越す
財源5874万1千円を
差し引いた実質収支は6
億7485万3千円の黒
字決算となつてゐるが、
少子高齢化が進む中、人
口減少は深刻な社会問題
となつてゐる。今後も限
られた財源を最も効果的
に活用して、住民福祉の
向上に努めるよう要望し

自主財源のうち市税の
収入額は34億8979万
9010円で、前年度比
7660万4千円の増で
ある。依存財源のうち地方
交付税は90億3038万
3千円で、2.1%の減と
なつたが、国庫支出金、
県支出金の大幅な伸びに
支えられ、前年度に比べ
9億8155万2千円の
増となつてゐる。税の徵
収率は、95・1%で県内
でも高い徵収率を誇り、
職員の努力を高く評価す
る。今後も、税負担の公
平性を確保するため、徵
収体制の強化に努めるよ
う要望した。

歳入



歳出

数の配置及び保育時間の
基準は。

問 拠点間バスと生活交
通バスの乗車人数は。

答 拠点間バスが2万4
26人で生活交通バスが
3万2733人の合計5
万3159人である。

予算の編成・執行は、
事業内容、執行時期とも
に、概ね適正に執行され
ているが、27年度から組
織機構が再編されること
から、関係課等との連携
を更に密にし、適正かつ
効果的な予算の編成及び
執行に努めるようとの意
見が示された。

問 路線見直しについ
て、常時行つてゐるか。
答 地域公共交通協議会
において、27年度からの
運行について検討中で、
今後も長期的視点から見
直す。

予算の編成・執行は、
事業内容、執行時期とも
に、概ね適正に執行され
ているが、27年度から組
織機構が再編されること
から、関係課等との連携
を更に密にし、適正かつ
効果的な予算の編成及び
執行に努めるようとの意
見が示された。

問 農地費
答 624ヘクタールに
対し、25年度は594ヘ
クタールで、30ヘクタ
ル減少している。

予算の編成・執行は、
事業内容、執行時期とも
に、概ね適正に執行され
ているが、27年度から組
織機構が再編されること
から、関係課等との連携
を更に密にし、適正かつ
効果的な予算の編成及び
執行に努めるようとの意
見が示された。

土木費

問 市道整備について、
住民の高齢化に伴い個人
負担が増加すると、環境
整備が進まない大きな要
因になるが。

答 26年度に、南九州市
里道の整備に関する要綱
を策定し、市道的機能を
果たしている生活道路に
ついては、市が100%
負担で行つてゐる。

問 市道整備について、
住民の高齢化に伴い個人
負担が増加すると、環境
整備が進まない大きな要
因になるが。

答 26年度に、南九州市
里道の整備に関する要綱
を策定し、市道的機能を
果たしている生活道路に
ついては、市が100%
負担で行つてゐる。

25年度 決算認定

社会情勢の

国民健康保険事業

特別会計

後期高齢者医療

されている。

保険税収納率は前年度に比較すると0・18%増。国保税の収入未済額は6・62%減となっており、調定額に対する徴収率は86・11%となってい

る。

なお、24年度から一般会計より法定外繰入をしており、25年度は1億7000万円繰り入れた。

問 不納欠損額の内訳は。

答 約13000万円あり、経営不振22人、居所不明8人、生活困窮3人、その他40人程度で、訪問や催促状を送付するなど対策を講じている。

～審査の中で～

国が都道府県単位への移行を進めている平成29年度までの間、国の動向等も見守りながら、引き続き生活習慣病及び疾病予防の取り組みを強化するとともに、今後も継続して国に新たな施策等について要望すべきとの意見が出された。

問 被扶養者数の推移は。

答 本市人口の約22%で、市全体の人口減少に連動する形で減少している。

介護保険事業

簡易水道事業

建設改良費は、頴娃地域谷場簡水施設整備工事や熊ヶ谷地区配水管拡張工事、川辺地域柳水源地発電機取替工事、下山田地内配水管布設替工事などを実施。

農業集落排水事業



知覧中央浄化センター

施設拡張工事として中部簡水瀬世向地区配水管拡張工事、口径拡張工事として野崎及び田部田地内配水管布設替工事・改良費の工事

問 認知症の人口と徘徊対策は。

答 65歳以上の10・2%に当たる、約1355人と推測される。

徘徊対策については、徘徊SOSネットワーク事業を開拓し、徘徊の恐れのある方を事前に個人登録し、警察・消防・自治会長・民生委員に名簿を渡し、捜索や見守りに役立ててもらっております、

26年8月末で33名が登録され、知覧中央浄化センターの維持管理費や管渠、マングホールポンプの維持管理費が主な事業費で、水洗化率は93%ある。

公共下水道事業

特別会計・企業会計決算額

(単位：千円)

区分	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険事業	6,407,428	6,337,344	70,084
後期高齢者医療	531,040	528,645	2,395
介護保険事業	4,566,108	4,491,423	74,685
簡易水道事業	546,024	533,870	12,154
農業集落排水事業	77,258	75,796	1,462
公共下水道事業	180,816	176,514	4,302
合計	12,308,674	12,143,592	165,082
水道事業			
収益的収入及び支出	340,704	322,047	—
資本的収入及び支出	4,814	128,582	—

水道事業